

## 第 19 回中国共産党大会から浮かび上がる中国株式市場の見通し

2017 年 11 月 6 日

### お伝えしたいポイント

- ・ 習近平国家主席が党の総書記に再任され、習指導部の 2 期目(5 年)の任期がスタート
- ・ 党大会で習近平国家主席は、「近代化した社会主義強国」の構築を進める方針を発表
- ・ 党大会で打ち出された政策は今後の株式市場の主要テーマとして注目

### <習近平国家主席が党の総書記に再任され、習指導部の 2 期目(5 年)の任期がスタート>

2017 年 10 月 18 日から 24 日にかけて、中国の第 19 回共産党大会（以下、党大会）が開催され、2012 年に党の総書記に就任した習近平氏（64）が、1 期目である 5 年間の総括と今後の基本方針について演説を行いました。また、中国共産党は 25 日の第 19 期中央委員会第 1 回全体会議（1 中全会）で習近平氏をトップとする新体制を発表し、習指導部は 2 期目の任期をスタートさせました。

### <党大会で習近平国家主席は、「近代化した社会主義強国」の構築を進める方針を発表>

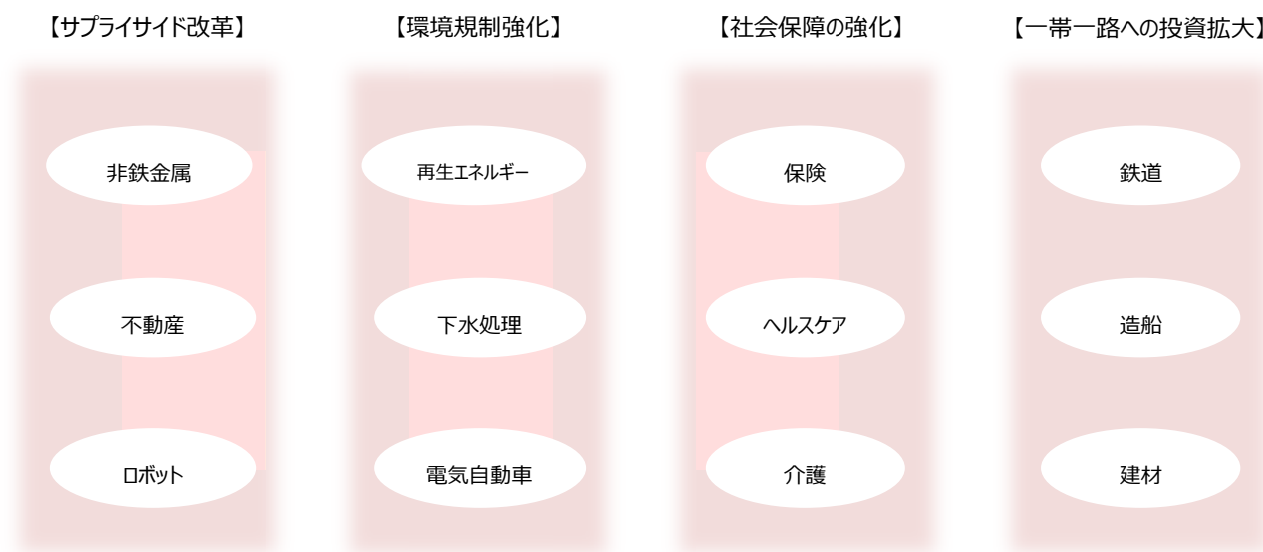
党大会で習近平国家主席は、GDP（国内総生産）成長率目標に代表される経済成長の速度よりも、経済成長の質を重視する姿勢を示しました。短期的には、3 年後の 2020 年までに小康社会（ややゆとりのある社会）の実現に向けて、環境汚染対策や貧困の削減、主要な経済リスクの抑制に注力する旨が示されました。また長期的には、「近代化した社会主義強国」の構築により中国の国際的影響力を強化する旨が示されました。

### <党大会で打ち出された政策は今後の株式市場の主要テーマとして注目>

党大会期間中の中国関連株式市場は、党大会の詳細や影響を見極めようとする投資家の動きから穏やかな推移となり、閉幕後は上昇基調で推移しています。今後は、習近平国家主席が「近代化した社会主義強国」の構築に向けて経済成長の質を重視する動きから、サプライサイド（供給）改革や環境規制強化、社会保障の強化、一帯一路への投資拡大などが強化されると想定されます。このような流れから、環境関連銘柄やインフラ（社会基盤）関連銘柄、社会保障強化を背景に需要拡大が見込まれる保険銘柄などの業績拡大が見込まれ、中長期的に中国関連株式市場の上昇の支援材料になると考えられます。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## 《中国が経済成長の質を重視する政策から発展が見込まれる分野の例》



大和投資信託作成

以上

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management